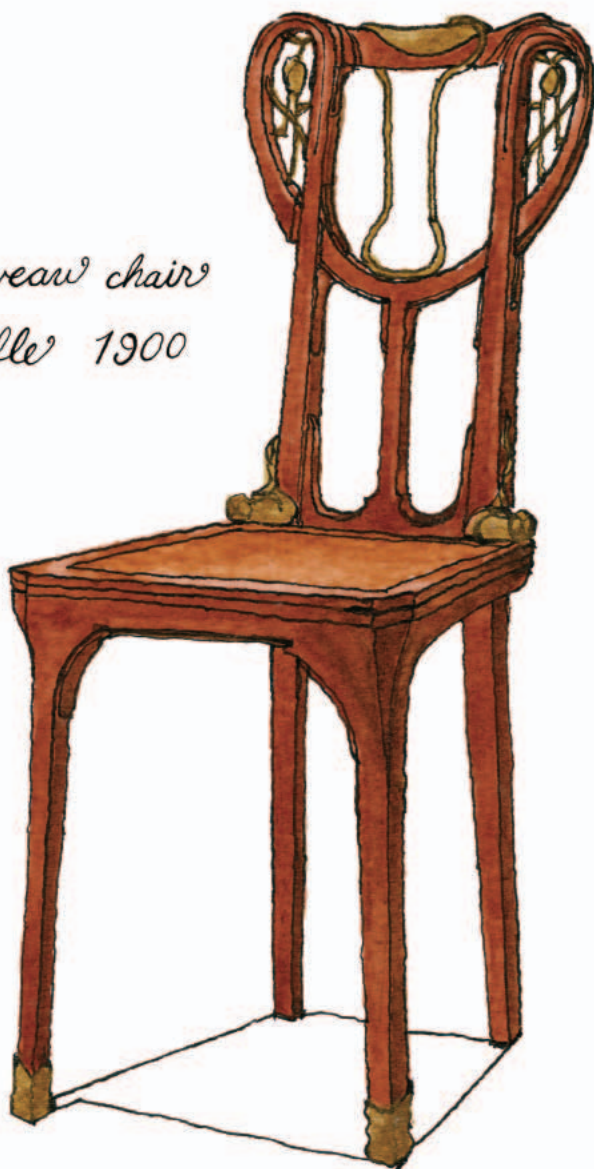


住まいの飾り職人“アトムリビンテック株式会社”の広報誌

ATOM NEWS

*French Art Nouveau chair
Louis Majorelle 1900
Nancy*



170

【アトムニュース】
2010 DECEMBER 冬号

毎日の暮らしに新しい風を運んでくれるような

金属の雑貨やインテリアを

つくり手の想いやこだわりの込められた

作品たちの「モノ語り」とともにお届けします。

ゆつくり手に取りながら

お気に入りを見つけてください。

つかってみるとなんだかうれしい、ここちいい



ギャラリーショップ KANAGU 東京都港区新橋 4-31-5 アトムCSタワー1階 TEL. 03-3437-7750

OPEN 月～金 10時～18時 Close 土、日、祝日

ACCESS JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」／都営三田線「御成門駅」・「内幸町駅」より徒歩7分

12月1日
プレオープン!

● つくり手の想いやこだわりはWEBでもご紹介中 <http://interiorfan.com/tsunagu/>

- 03 Friend Circle
造形作家 福本和子さん
- 06 寺・神社めぐり・冬
東京のプチ富士山とダイヤモンド富士
- 07 東京再発見
東京おもちゃ美術館
- 10 ATOM×EARTH VISION

- 11 歴史と伝統そして革新
- 13 ATOM's Eye
2010秋の内覧会レポート
- 15 CSタワー通信
- 17 おとなのオフタイム
銀座・ポルドー
- 18 オフタイム



170

2010 December 冬号

ブックコンシェルジュ
Book concierge

本のスペシャリストがテーマに沿った
オススメの洋書をピックアップ!



ハックネット代官山店にて撮影

安岡洋一さん
洋書店「ハックネット」ディレクター。洋書籍販売のほか輸出入代行業務や商品開発など岐にわたる。CSタワー1階の書籍コーナーには安岡さんの目利きによって選ばれた洋書が並んでいる。現在スティックなトレーニングでパフォーマンスの向上、細身マッチョへと肉体改造中。フルマラソンで3時間を切る“サブ3”が年内の目標。



Theme #13

It's a small world!
小さな世界から広がる大人の浪漫



DINKY TOYS

ディテールまでしっかり作り込まれ、世界中のコレクターから人気を博している英国の玩具メーカーMeccano社のミニチュアカー“デインキー”。家畜を荷台に乗せたトラック、砂地に置かれた戦車、高台からジャンプしたレーシングカーなど、車種にふさわしい小道具やシチュエーションのもとで撮影されている。デインキー全盛期の1950年代が蘇るミニ・フォトブック。素朴でクラシカルな空気感に懐かしさと遊び心が満たされる。



Liam Bailey forever england

ロンドン郊外にあるミニチュアの街『ベコンスコット・モデルヴィレッジ』を写真家リム・ベイリーが切り取ったミニ・フォトブック。世界最古のモデル・ヴィレッジとして、年間20万人もの来場者を楽しませているテーマパークには、市場で野菜の品定めをしている婦人、路地裏にたむろする子供達、屋根をつたうノラ猫など、3000の人と300の動物達が暮らしている。プリティッシュ・ユーモアとクラフトマンシップが感じられる一冊だ。



Bugs in a Blanket / Beatrice Alemagna

ボローニャ国際児童図書展の入選を機に活動を始めた人気作家ベアトリーチェ・アレマーニの最新作は、原っぱに捨てられた古いベッドの上の毛布に住む小さな虫くん達の物語。個性豊かな虫くん達は、仲間のためにお誕生会を開いたり、ダンスをしたり…フェルトやレースなどの素材をコラージュして描かれている。夢は「年齢に関係なくすべての人が楽しめる本を作ること」という彼女の表現はユニークで温かい。

読者
プレゼント



巻末ハガキ・FAXまたはホームページのアンケートにお答えいただいた方の中から
抽選で10名様へこちらの洋書をプレゼントいたします。

THIS IS FOR YOU / Rob Ryan

ロンドンを拠点に活躍するアーティスト、ロブ・ライアンによる初のオリジナル作品集。恋をした青年の喜びや哀しみ、愛する人へのメッセージが繊細な切り絵によって表現されている。それは甘くてピュアなラブストーリー。プレゼントとして喜ばれるのはもちろん、自分への癒しにもお勧めできる一冊です。

■ 締め切り2011年1月31日(月)

※ハガキは当日消印有効です。
※当選者の発表はプレゼントの発送を
もってかえさせていただきます。

今回ご紹介の洋書はCSタワー1階の書籍コーナーにて展示・販売しています。どうぞお手にとってご覧ください。



friend circle 13

造形作家

福本和子さん



京都生まれ。造形作家。1973年より京都・東京で個展を開催、1976年に'76アートナウ招待出品（兵庫県立近代美術館）。1976年よりクリエイティブデコマスセンター（株）にて取締役プランニングディレクター（～2000年）、1978年より神戸文化短期大学非常勤講師（～2006年）を務める。2000年から創作活動を再開し、和紙・柿渋・銅・鉄・布・マグネットなど、数多くの素材を使った作品を手がける。日本システム技術（株）のインテリアアートのプロデュースをはじめ、百貨店や老人ホーム、関西国際空港・日航ホテル内レストランへの作品提供など幅広く活動。2009年には日産スチール工業（株）・ニチレイマグネット（株）と『copaco』の共同開発に取り組む。西宮美術協会会員

URL: <http://homepage3.nifty.com/wako26/>



柿渋、和紙、古布、木、スチール、マグネット……。

命を吹きこまれた様々な素材がその存在感を放つ、力強い作品たち。

日本の伝統的なものづくりの技をリスベクトしながら、

新しい感性で作品を生み出す自称「何でもアート造形作家」

福本和子さんに、ものづくりへの思いや

これからトライしていきたいことを伺いました。

太陽の光と、柿の渋

自然がつくりだす作品の

思いがけないおもしろさ

「いろいろな素材を使った作品を作っていらつしゃいますが、最初に使ったのはどの素材だったのですか？」

いちばん最初は和紙です。主人と高知県の伊野へ旅行で出かけた時に、手漉き和紙の体験学習に参加したんですね。紙の間に葉っぱをはさんだりして何層にもなっていてけっこう厚かったので、家に帰ってから紙だけ剥がしてみたら、これはおもしろいなと思って。その後、自分はこの風につくりたいとお願ひしてつくらせていただくようになったんです。溜め漉きという方法で限界まで厚く漉く。その場だと時間がないので、乾燥させてから送っていただいて、それをまた水で濡らしているんだ

形にしてみる。最初はそんなことをしていました。

「今、柿渋染めに再トライされているということですが、柿渋染めとの出会いは？」

その和紙を染めるためにいろいろな染料を使っていたのですが、その中に柿渋があつたんです。でもその時は、こんな色なら柿渋にこだわらなければならないかな、と思っていました。

ある時、知人に「大阪の十三に柿渋液を扱っているところがあるから行ってみたら？」と勧められたのが、大阪西川という柿渋生産会社です。そこで、ああこれが本場の柿渋なのかという素晴らしいものに出会えたんですよ。

「福本さんにとって、柿渋染めの魅力とはどんなところでしょうか。」

まず柿から採っている自然の素材だということ。それから「お陽さま染め」

うまく仕上がるかどうかは
お陽さまのご機嫌次第
思い通りにならないのも
柿渋の魅力です



柿渋染め布と銅版。100F (1303×1620mm)



楮(こうぞ)100%の手漉き和紙。染料と柿渋染め



柿渋染めの紙と布。2枚のキャンバスで構成

だということが魅力ですね。お陽さまのご機嫌ひとつで仕上がりがまったく変わってしまう。思った以上のものが出てきたり、思っていた以下のものになったり、自分の意志だけではどうにもならないという部分がおもしろいんです。

大阪西川さんとおつきあいでいる間に、柿渋のことをいろいろ勉強させてもらいました。柿渋は渋柿の未熟な青い実を粉碎・圧縮して得られた液を発酵・熟成させてできる赤褐色の液です。化学染料が普及するまでは日本人の生活必需品でした。そして、液だけでなくゲル状のものもできるので、ジャム染めと言われ数年前に話題になりました。これは「自然の贈り物」というようなもので、均一のものをつくるのは無理なようです。

—偶然から生まれるおもしろさですね。
そうですね、柿渋はいろんな意味でおもしろい素材です。

一度、大阪西川の奥さまに「淡く染めたかったら月で染めてみたら？」と教えていただいて、やってみたらこれがちゃんと染まるんです。お陽さま染め、お月さま染め。考えただけでも楽しいですよ。例えば油絵だったら描き直すこともできるし、仕上がりがだいたいわかりま

す。そういうことが全然通用しないのが柿渋染めの世界。自分の力ではどうにもならない部分が、とても魅力的ですね。

—アトムCSタワーで福本さんの作品を拝見しましたが、飾られる空間によって表情が変わるように思いました。
空間もそうですが、サウンドの力が大きいですね。やっぱり音楽はすごい。音楽のように、と本にも書いていますが、音楽って上から塗ってやり直しが効くものではないですよ。そういうものにすごく憧れるんです。もう一度、何かを一から始められるなら音楽をやりたいくらいです。

アトムさんに何うようになってから、視覚と聴覚のコンビネーションによって作品の物語ができるのだということに気がきました。音楽が作品に何かを吹きこんでくれるという感じですね。



大阪西川の西川さんご夫妻。「ある種単調といえる柿渋に私がこだわるのは、大阪西川の自然にこだわった柿渋とその取り組みに共感しているところが大きい」と福本さんは語る
<http://www.kakishibu.com>



古布と木のコラボレーション。マグネットを使っの仕上げ

感性と機能性をあわせ持つ壁面装飾で空間に息吹を与えたい

素材への想い

和紙:作家活動スタートの基本素材。楮100%を「溜漉き」を繰り返して厚くしたものを立体的に使用。和紙は伝統素材ですが、伝統とはかけ離れた個性的な使い方提案をしています。

柿渋:10年近くつきあっても終わりの見えないもの。異素材とのコラボレーション等で新しい表情を創ることで柿渋を再認識してほしい。スピーディーな時代にゆっくりと微妙な柿渋の変化を追求していこうと考えています。

スチール:ステンレスが基本ベースで創作手法は「火で描く」。「火で描く」のはやり直しがきかないため、「集中力」と「思い切り」で描く緊張感が私のキャラクターに合っているのでヤミつきになっています。

マグネット:自由に操りいろいろと展開でき、創作の幅が広がるのが魅力。マグネットなので、完成してお披露目が終わると音楽のように消えてしまうこともあり。次のステップに挑戦する動機にもなります。

古布:木やスチール、色箔などとコラボレートして創る。古布はさまざまな時間の中を通して来たものです。新しいストーリーを創って再生するのですから、まず会話から始めます。

ものづくりをしながら素材たちと対話する

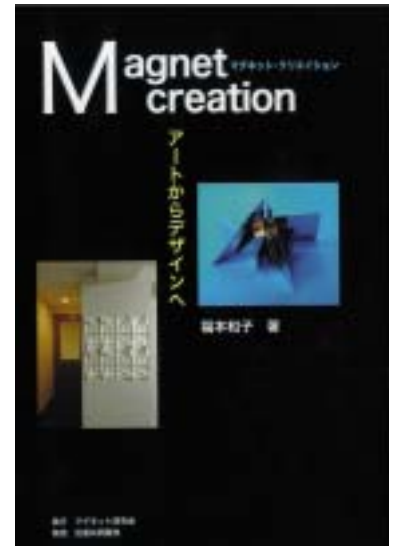
「素材に和紙や古布など伝統的なものをよく使われていますね。」

数年前「忘れられるものたち」という個展を開いた時に、主に古い帯を使うのですが、作品をつくっていると素材と対話ができるんですよ。古布なら、どんな生活をしてきたの？と。

例えば、ぼろぼろなんだけど捨てられない帯があるんですが、クリーニングに出してもおしろいの匂いが抜けないんです。なにか「念」のようなものを感じるんですよ。ちょっと怖いかもしれません(笑)。

ところが新しいものにはそれが無い。

copacoにお皿をつける



「マグネット・クリエイション」マグネット研究会発行
ニチレイマグネット(株)のノウハウの提供により、「アートからデザインへ」の多彩な作品が展開されています

もう使わないからと新しい帯をいただくことがあります。そうしたものは何も伝わってこないんです。布自体が記憶を持っている、というのでしょうか？

そうかもしれませんね。きっと人の歴史があるのではないのでしょうか。そうした古布たちに向かって、ちょっと生まれ変わってみませんか？と話しながら創るんです。そうすると作品も全然変わりますね。

「今後はどんな活動をされていく予定ですか。」

今、新しいテーマとして、幾何学的なパターンに取り組んでいます。和紙にしても鉄にしても、私の基本はユニットパターンを展開していくということが原点なんです。

ユニットパターンは単純にリピートして使うと模様になります。しかし、向きを変えて流れを創りながら組み合わせると造形になります。模様と造形の狭間を漂いながらアート作品を創る。これが私の長年のテーマです。最後に、これからの展望をお聞かせください。

シンプルなユニットパターンによる

壁面装飾をやってみたくて思っています。マグネットを使った「copaco(コパコ)」もそのひとつです。私の感性と日産スチール工業(株)・ニチレイマグネット(株)のもつ技術のノウハウをコラボレートして、大きな壁面造形をするのも楽しいテーマです。

これからは空間造形も、機能性と感性の両方を持っている必要があると思います。私は感性を提案し、企業に機能を受け持ってもらおう。理想的なカタチではないでしょうか。

私は多くの素材を使いますが、素材が変わっても造形感覚のベースは同じです。素材が変わることで新しい発見に出会い、創作の幅が広がる。あらゆるものに関心を持ち、トライするのが私の創作の原点なんです。





寺・神社めぐり冬



高尾山天狗のお面



① 高尾山薬王院本堂 ② 高尾山天狗の像 ③ 品川富士登山道 ④ 千駄ヶ谷富士塚全景 ⑤ 品川富士頂上

東京のプチ富士山とダイヤモンド富士

東京を中心とする関東の神社には、小さな富士山である富士塚が多い。本物の富士山の美しさを鑑賞したい人には、冬至の日の高尾山がお勧めだ

「士講」が盛んになった。富士山そのものに登るのが一番であるが、江戸から遠いので、そう簡単には行けないという事で、近場に富士塚を作ったのが始まりである。

サイズや形はさまざまである。本当に小さくて拝むだけのものもあれば、かなり高く、プチ登山気分を味わえるものもある。特にお勧めは、品川神社の品川富士だ。標高は15メートルほど。登りつめると視界が開け、遠く天王洲アイルやレインボーブリッジも望める。

千駄ヶ谷の鳩森神社にある千駄ヶ谷富士塚も面白い。寛政元年（1789年）の築造と言われ、東京都の有形民俗文化財にも指定されている。頂上近くには本物の富士山の溶岩も配され、山腹にはクマザサも植えられて、けっこうリアル。山頂の奥宮にお参り後、社務所に申し出れば、登頂記念のお札も授与していただける。

しかし、やっぱりミニチュアでは物足

りない。そんな方にお勧めなのは高尾山である。標高約600メートルの山中には不動明王の化身とされる飯縄大権現を祭る薬王院というお寺があり、晩秋は、周辺の紅葉もあいまって、素晴らしい景観となる。ミシュラン旅行ガイドで三つ星の観光地に選ばれたためか、外国人の姿も多い。彼らにとっては、大都市の東京に、こんな大自然に囲まれた信仰の場があることが奇跡的に思われるのだろう。

そしてもう一つの魅力は、やはりミシュランで三つ星がついた富士山の雄姿を拝めることだ。鑑賞ポイントは薬王院から少し歩いた高尾山山頂や、もみじ台というところ。秋が深まるにつれてクリアに見えるようになるが、一番のお勧めは、12月の冬至前後の数日間。富士山山頂に夕日が沈む「ダイヤモンド富士」を見られるからだ。昨年わたしも見たが、実に美しく感動的だった。

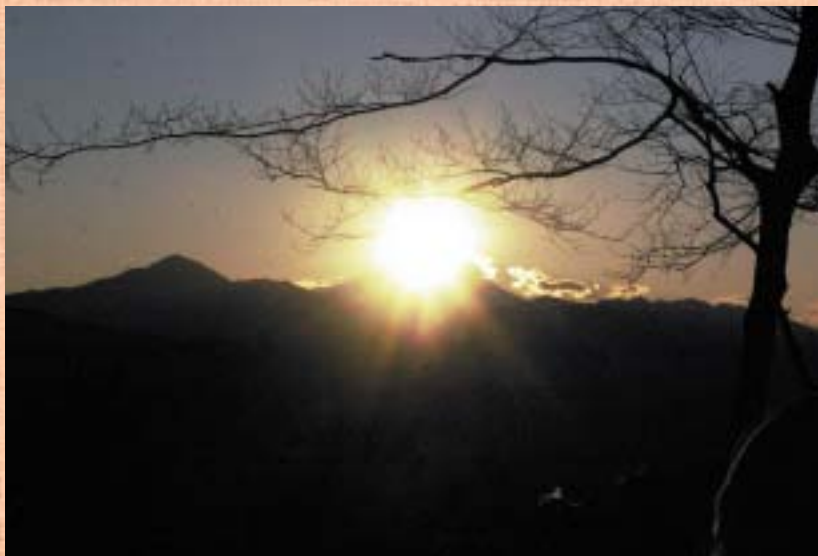
みごろは16時〜16時30分ごろ。多少混

雑するので、少し早めに行って、よい場所を確保しよう。帰りの道筋では、きらめきはじめた東京の夜景を眺めることもできる。



文・写真／吉田さらさ

テラピスト(寺旅研究家)として文筆や写真撮影、ツアー企画などを行う。朝日カルチャーセンター新宿校にて、毎月一度、東京とその近郊の寺めぐりの講座も行っている。NHK「直伝 和の極意〜とおきの宿坊を楽しむ!」に講師として出演。



高尾山山頂から望むダイヤモンド富士

東京の神社や寺を巡っていると、富士塚と呼ばれる小さな山を見かけることがある。その名のとおり富士山のミニチュアで、一合目、二合目という石柱が立っているところもある。江戸時代に、富士山を神として信仰する「富

子どもたちの歓声がよみがえった学び舎

新宿御苑のほど近くにある旧新宿区立四谷第四小学校は、明治四十年（一九〇七年）、四谷第四尋常小学校として開校。火災や東京大空襲といった歴史の荒波を生きのびたものの、平成十九年（二〇〇七年）、少子化によって閉校となった。多くの卒業生や地域住民にとっても、想い出の学び舎は、NPO法人「日本グッド・トイ委員会」が運営する、「東京おもちゃ美術館」として再生を告げた。そこには、子どもたちの生き生きとした姿がよみがえっている。



美術館に再生した小学校の校舎

遊びと笑顔があふれる おもちゃと癒しの空間

「おもちゃのもり」に迷いこんだ。

そこは、かつての音楽室。五線譜が書かれた黒板がそのまま残され、ヒノキ材を敷き詰めた床を子どもたちが笑顔で走り回る。中央にある杉材で造られたツリーハウスは子どもたちのお城。このほか、二万個の木のボールで埋めつくされた木の砂場など、木の香りと温もりが漂う「癒しの空間」でもある。

「おもちゃは人間が出会う初めてのアート」それが美術館設立のきっかけだった。

おもちゃは子どもが遊んで時間つぶしをする単なる道具ではなく、ひとつひとつが造形的にも素晴らしい、色彩感覚にも優れた芸術品である。世界各地で収集したおもちゃの数々

を広く展示し、子どもたちはもちろん、大人たちにも見て知って遊んでもらいたい…そんな思いから、民間の研究機関である芸術教育研究所が母体となり、東京・中野に「おもちゃ美術館」が開館したのは昭和五十九年（一九八四年）のことだった。

以来、「見る・作る・遊ぶ」という三つの機能をそなえた美術館として長く愛されてきたが、収蔵品が百力国十五万点を超え、展示スペースも手狭になった。「そんなとき、地域との縁がなくなると、閉校になった小学校の跡地利用というお話があったんです」と副館長で事務局長の馬場清さん。

誘致先となったのは、閉校が決まった新宿区四谷第四小学校。少子化の折、閉校はやむを得ない事情だとしても、取り壊してマンションやホテルに形を変えてしまう方向ではなく、



① ツリーハウスがそびえる「おもちゃのもり」
② おもちゃ美術館の入り口



一口館長の名前を刻んだ積み木が並ぶサポーターズボード

そのままの形で有効利用する方法はないか。歴史的建築遺産である校舎を受け継ぎ、未来へ伝える役割を果たせないか。そこから「おもちゃ美術館」の誘致が具体化し、動き始めたのである。

見て触れて遊べる 体験型ミュージアム

候補地となった旧新宿区立四谷第四小学校は、明治四十年に産声を上げ、新宿の歴史とともに歩んできた伝統ある小学校だ。だが、その校舎は昭和八年に火災によって全焼。「なんとか復興を」と願う地域住民や卒業生が立ちあがって、当時の金額にして二十五万円という寄付金が集められた。当時は、公務員の初任給が七十五円、白米十キロが二円五十銭という時代だ。二十五万円という多額な浄財は、校舎の再建にかける意気どみの大きさを象徴でもあるだろう。

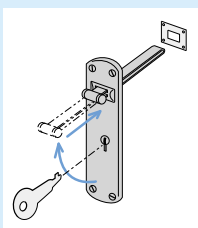
アトムの視点

面付栓錠（つらづけせんじょう）

廊下の収納棚に昔懐かしいものを見つけました。民家という縁側のガラス戸など、引き違いの建具に取り付けられていたのを思い出します。1960年（昭和35年）発行の弊社カタログにも掲載されていて、面付式は真鍮製、彫込式は鋳物製となっていました。アトムCSタワー4Fのストーリーコーナーにも同様の栓錠が展示してあります。

二人掛けチェア

階段の踊り場にあるカラフルなチェア。手前のステップを使えば、ちびっ子もお母さんの手を借りずに腰掛けることができそうです。ポップな色使いと丸みを帯びたデザインが、とても現代的です。



その思いを形にすべく、ドイツ人設計家の手によって、鉄筋コンクリート、プール付きという、当時としては最先端の建築デザインによる校舎が完成したのである。

そうした歴史を踏まえつつえて、校舎を残すことを前提に、地域の人や子どもたちの歓声が聞こえてくるような使い途を考えることが目標であった。

正式に移転が決まったものの、学校の教室を美術館の雰囲気にも創りあげるのは至難の技であった。教室の壁を取り払って、広い展示スペースを確保するアイデアも提示された。だが、それでは小学校の校舎という個性を十

分に活かすことはできない。

最終的には教室ごとにテーマを変え、子どもたちが楽しみながら巡り歩ける美術館にすることが決まった。

「ふれて遊べる体験型のミュージアム」…それが、キャッチフレーズである。

おもちゃでつながる

「ミニミニケーシオン」

教室や廊下に展示されたおもちゃのほとんどは、手にとつて遊べるものばかりだ。

一階の受付を入つてすぐの「グッド・トイ

んじしつ」は、日本初のグッド・トイ選定玩具の常設展示室。丸テーブルに置かれたグッド・トイの遊び方は自由、子どもたちの創造力と想像力を刺激する作品が並んでいる。

三階への階段を上ると、かつての家庭科室は「おもちゃこぼれ」に变身していた。ここでは紙コップや牛乳パックを使った簡単なおもちゃ、江戸時代のからくりおもちゃなど、手づくりおもちゃが無料で楽しめる。

このほか、テーブルサッカーや中国のパズルゲームで遊べる「ゲームのへや」。けん玉、コマ、お手玉といった日本の伝統的なおもちゃが集められた「おもちゃのまち あか」。科学おもちゃをはじめ世界の木のおもちゃ、楽器、おもまごと遊びができる「おもちゃのまち きいろ」など、かつての教室にあふれていた子どもたちの歓声や息づかいが、生き生きとよみがえっている。

「おもちゃを通して親子のミニミニケーシオンが生まれ、初めて出会った友達、外国人、お年寄り、ハンディキャップのある人たちとも交流ができる。おもちゃは、そんなミニミニケーシオンツールでもある」と馬場さん。

ふと気づくと、いつの間にか子どもと一緒に大人も夢中になって遊んでいる。

ここでは、大人も子ども「自分」に戻れる懐かしい場所なのである。



1

- ①おもちゃとの出会いの場「グッド・トイんじしつ」
- ②日本初のグッド・トイ選定玩具が常設展示されている
- ③家庭科室だった手作りおもちゃの「おもちゃこぼれ」
- ④日本の伝統的なおもちゃで遊べる「おもちゃのまち あか」



2



4



3



盤面下の磁石で動かすサッカーゲームに夢中

Information

インフォメーション

東京おもちゃ美術館

- 所在地／東京都新宿区4-20四谷ひろば内
- 問合せ先／03-5367-9601
- HP／<http://goodtoy.org/ttm/>
- 交通／東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」から徒歩7分 都営新宿線「曙橋駅」から徒歩8分
- 開館時間／午前10時～午後4時（入館は午後3時30分まで）
- 休館日／木曜日（2月と9月に特別休館日あり）
- 入館料／子ども 500円（3歳～小学生） おとな 700円（中学生以上）
- おとな子どもペア券 1000円
- 15名より団体割引 1名につき100円引き



映像からはじめる幼年期の環境教育

「アース・ビジョン キッズ★キット」 センス・オブ・ワンダーを育てよう

環境問題を考えるとき、一番たいせつなものは？

答えはとても簡単。レイチェル・カーソンの未完の著書『センス・オブ・ワンダー』にあるように自然への好奇心と敬愛、そうした感性を持ち合わせていることだと思います。アース・ビジョンは今、映像を活用した幼年期の環境教育のためのツール「アース・

ビジョン キッズ★キット」を作成中です。

子育ては本来、子どもを取り巻くおとなたちが協力しながら、育てていくべきもの。やわらかで豊かな感性をもった子どもたちを取り巻くおとなたちが、一緒になって彼らの中に豊かなセンス・オブ・ワンダーを育てていく、そのお手伝いをしたいと考えています。



さよなら、ブーリー

一人立ちするため家を出て、森でくらし始めるビーバーのブーリー。ベルギーの子どもたちが作ったアニメーション。



アトグアトグ!

ある星を侵略したエイリアンが固有生物のアトグを食い尽くした結果、自らもアトグを天敵とする昆虫の群れに食べられてしまうという、大量消費文明を皮肉った作品。



おとなりさんとわたし

エコロジカルなアリと、無頓着なセミはお隣さん。ある寒い朝、セミの家は水も電気も止まってしまい…という教訓的アニメーション。

アース・ビジョンの取り組み

アース・ビジョンには、「子どものための環境映像部門」があります。

そのなかには、クオリティの高い映像が数多くあり、アース・ビジョンの魅力的なアーカイブとなっています。これを、ぜひ環境教育に活用したいと考え、2009年秋から幼児期の子どもと、幼年教育に携わる教師、保育士、親たちを対象とした教材を作ることを計画しました。

アーカイブの中から特に子どもたちに人気の高い作品を選び、これにガイドブックをつけます。制作には、環境問題・幼年教育の専門家にご協力を仰ぎ、検討委員会を設けて討議を重ねてきました。

幼年期はまず「実体験」をたくさん経験させてあげ、五感を通した自然への感性を磨くこと。この時期はまた、生活習慣をしっかりと身につける時期です。エコロジーな生活習慣を、当たり前のこととして身につけるために、子どもを取り巻くおとなたちも一緒になって、ライフスタイルを持続可能型に変えていってほしいと願っています。

映像はきっと、新たな環境文化の伝道者になってくれるでしょう。

information

アース・ビジョン 第19回地球環境映像祭

期 日 2011年3月4日(金)～6日(日)

会 場 新宿区 四谷区民ホール
(東京都新宿区内藤町87番地 四谷区民センター9階)

アクセス 東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前駅」
大木戸門方向(2番)出口
新宿通りを四谷方向へ徒歩約5分

問い合わせ先:アース・ビジョン組織委員会

TEL : 03-5802-0525

詳しくはウェブサイトで! <http://www.earth-vision.jp/>

デコラティブな

インテリアデザイナー
卯野木憲二

アール・ヌーヴオーはだれが

現代ではアール・ヌーヴォーをその植物などの生命感あふれる曲線の美がアンティークでかつ魅力のある装飾的イメージを強く持っているとする人達も多い。

前号でアール・ヌーヴォーはモダンであると定義したが、それはアール・ヌーヴォーに流れる思想がアーツアンドクラフツ運動を継承したからにほかならない。

ただしアール・ヌーヴォーはひとつのイメージで統一されたものではなく国やデザイナーによってその装飾性にかかなりの幅がある。それは現代のモダンデザインのバリエーションと同じようなものだ。

ちなみに前号で紹介したアール・ヌーヴォーの創始者、アンリ・ヴァン・デ・ヴェルデのデザイナーはアーツアンドクラフツ運動を進化させた英国風のアール・ヌーヴォーのデザインといわれていた。ここからマッキントッシュのグラスゴーパーなどの直線のアール・ヌーヴォーなどといわれたデザインが育ちモダンへと変化していった。

デコラティブなアール・ヌーヴォーはどこでデザインされたか、だれがデザインしたのだろうか。

答えはフランスでナンシー派と自ら名乗った人達を中心となって創り出した。ナンシーとはフランスの北東部の町のこと。ここに居をかまえ会社をかまえてナンシー派と称し、ここから新しいデザインの普及に力を注いだ。

主なデザイナーには、日本でもガラス工芸家として有名なエミール・ガレがいる。彼は彼のガラス工芸のように家具にもアール・ヌーヴォーのイメージを具現化した植物や昆虫など自然の息吹を具体的にゴージャスに表現した。

左のイラストのテーブルでは、とんぼの姿を脚にしている。そのほかにもヘッドボードやフットボードに蝶をデザインした有名なベッドなどもある。

そしてカバーストリーで紹介しているルイ・マジョレル、それにもはや究極のデコラティブな植物の曲線を表現したアール・ヌーヴォーのデザインといわれ、よく写真で紹介される家具をデザイン

したウジェーヌ・ラバンなどがある。

彼らのデザインはアール・ヌーヴォーのコンセプトを持っていることは間違いないが、フランス伝統のロココのスタイルが根底にあることを見逃してはならない。これはフランスで生まれたスタイルであるがゆえにフランス人の生活感や精神が歴史的に持っている華やかさの表現なのだ。

左の写真は、パリの高級住宅街にあるアパート建築の写真だが、まさにそのデコラティブな装飾はロココの伝統を含んだアール・ヌーヴォーになっている。これらをフレンチ・アール・ヌーヴォーとよぶ。

ちなみに1960年代に活躍したデザイナー、オリビエ・ムルグがデザインしたソファアで映画「2001年宇宙の旅」や大阪万博のフランス館で使われたものを見ても、現代のフィリップ・スタルクにおいてもロココのイメージが根底にはあるように見うけられる。フランス人独特の審美眼のようだ。

COVER STORY

～表紙で掲載している「チェア」イラストについて～

《フレンチ・アール・ヌーヴォーチェア》

デザイン:ルイ・マジョレル



フレンチ・アール・ヌーヴォーでもっともデコラティブな家具を作ったのがルイ・マジョレルだった。彼もナンシー派(エコール・ド・ナンシー)の巨匠の1人で、ガレが会長でマジョレルは副会長を務めた。

彼の家具はアールヌーヴォーの中でも水が流れるようなしなやかさをもった植物の曲線と、それを強調するためにこれも流れるように美しい形状の金メッキを施したブロンズを組み合わせたゴージャスなデザインが特長。

このチェアもマホガニーに金メッキのブロンズをあしらっている。前脚の先端部と座部と背部の根元の木の葉と蕾、背あたりの上部にはツルと葉がからんでいる。この椅子のコンセプトでは「生命の木」をイメージしている。

あわせてその他の技術では、木象嵌もくそうがん(家具の扉などの表面に図柄や文様をほり、その箇所には違う木の木片を埋め込む)や、木の板目の年輪の切り方を模様として張り合わせる手法などで表現している。

ルイ・マジョレルは、わが国ではあまり知られていないが彼の作品は今でもアンティーク商品の対象になるほど有名で魅力がある。

彼の家は元々、家具製造会社だった。彼の父の代はロココスタイルの家具を造っていた。彼はエミール・ガレの影響を受けアール・ヌーヴォーの家具を造り始めた。彼のロココの感覚とアール・ヌーヴォーを融合させた家具が、伝統的にロココの審美眼を持っていたフランスの富裕層に歓迎された。また彼はインテリアデザイナーとしても才能があり、パリのレストラン、マキシムのインテリアをデザインしたことで有名だ。彼はデザイナーであり高級家具の職人でもあったところが彼の力強く、ゴージャスな家具を生み出した要因だった。これもわが国ではあまり知られていないがガラス工芸家で会社が現在まで続いている有名なドーム兄弟と組んでガラス工芸も始め、ランプや花瓶、オブジェなども製作した。

彼の作品はフレンチ・アール・ヌーヴォーの頂点にあるが、その後のアールデコやモダンデザインの啓発に大きな影響を与えた。



エミール・ガレがデザインしたテーブル



パリのアパート建築外観

去る10月、大阪と東京でアトムリビントック「2010秋の内覧会」を開催いたしました。

このページでは東京展を中心に、内覧会の模様をレポートいたします。

今回のメイン展示として、引戸ソフトクローズ機構（引戸の閉まり際を緩め、

静かにゆっくりと閉じる機能）のバリエーションを、実際の建具11セットを用いてご紹介いたしました。

ずらりと並んだ建具の展示はまさに存在感大。ご来場のお客様には性能の進化と、

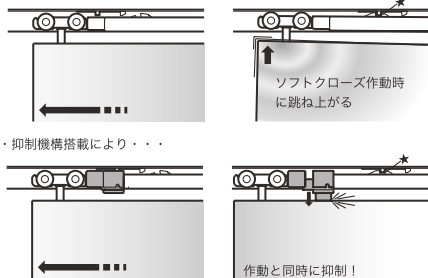
幅広い応用展開をご体感いただけたのではないかと思います。

ここではソフトクローズのバリエーションのなかから、3タイプをピックアップしてご紹介いたします。

跳ね上がり抑制機構付きソフトクローズ

(近日発売予定)

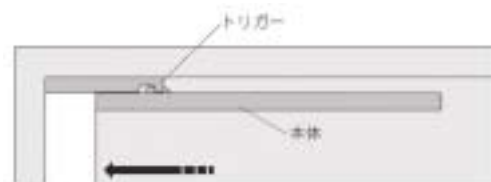
ソフトクローズ機構上部吊り車に跳ね上がり抑制機構を搭載したことで、ソフトクローズ作動時の、戸のわずかな跳ね上がりを防ぎ、動きの高級感をさらに高めました。



下荷重引戸ソフトクローズ後付けタイプ

(近日発売予定)

既存の下荷重引戸（以下のような条件があります）に後付けができる、リフォームにも便利なソフトクローズユニット。面付仕様で施工も簡単です。



適用可能な下荷重式引戸

- ・走行抵抗:0.7kgf
- ・引戸重量:30kg以下
- ・下レール:Y型レール
- ・戸車:FA-1000-BY

戸先・戸尻両側ソフトクローズ

戸先側と戸尻側の両方にソフトクローズ機構を配置した組み合わせです。開時と閉時のどちらにもソフトクローズ機構が作動する、よりハイグレードな仕様です。



2010秋の内覧会を終えて

このたびはご多用中にもかかわらず、「2010秋の内覧会」に多くのお客様にご来場いただきまして、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

景気は底を打ち、緩やかな回復傾向にあると言いつても、依然として私たちの業界は厳しい状態が続いております。そのようななかでもここ数年、一定の評価をいただいております引戸のソフトクローズ機構につきましては、お客様の関心もますます高まっているなかで、新たに「跳ね上がり抑制機構付き」や「戸先・戸尻両側ソフトクローズ」など、市場を先行するかたちで新製品のご提案ができたのではないかと思います。ソフトクローズ機構の開発につきましては、弊社でも一段と力を入れており、特に「下荷重引戸ソフトクローズ後付けタイプ」は、提案力の高い製品として、自信を持ってご紹介いたします。今回参考出品させていただきました製品も、次回の展示会では新製品としてご紹介できますよう、引き続き邁進していきたいと思っております。

東京展に関しましては、金物だけでなく、弊社の新たな一面をご覧いただける場となっております。インテリア商材やギャラリー展示の方もリニューアルを重ね、展示会ごとに一味違ったアトムリビントックをご覧いただけます。来年4月には「春の新作発表会」が控えております。次回も皆様のご来場を心よりお待ちしております。



卸売事業部 係長
藤田 和彦

大阪会場



東京会場



もっと
詳しく

金物CLOSE UP

FC-2900-H ソフトクローズ機構上部吊り車・ 跳ね上がり抑制機構付き (特許出願済)



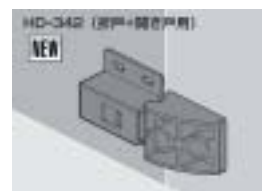
ソフトクローズ作動と同時にスペーサーが出現。
戸を下方向に押さえ込むことで跳ね上がりを
抑制します。



ほかにもこんな新製品

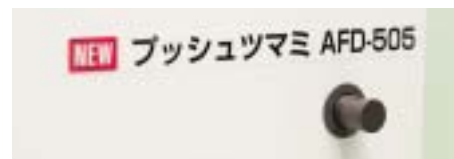
HD-342 折戸用下部振止め

吊元固定下レール無しのタイプに使用する振
止めです。折戸と開き戸の組み合わせのとき、
戸を閉じた際の戸先の振れを抑えます。開き
戸キャッチ (HD-100) と併用します。



AFD-505 小型プッシュツマミ 加工径21φ

つまむ部分が15φのシャープなプッシュツマミ
が新登場。従来品よりも2ミリ長い19ミリの飛
び出しとなっていて、つまみやすさがUPしました。
カラーバリエーションはクローム、パールニッケ
ル、アンバーの3色。



大阪展・東京展とも、お越しくださいましたすべてのお客様に
心より感謝申し上げます。ご来場ありがとうございました。

※製品についての詳細は各ショールームまでお問い合わせ下さい。

ギャラリーショップ KANAGU がオープンしました

みなさまこんにちは。いつもアトムニュースをご愛読くださりまして、ありがとうございます。
 この冬、CSタワー1階に金属雑貨ショップがオープンしました。その名も「ギャラリーショップ KANAGU(かなぐ)」。内装金物のバイオニアであるアトムリビントックにふさわしい、
 個性的な名前となっています。



「モノ語り」を伝えることで
 つくり手とつかい手の心をつなぎます

創業から107年、「住まいの飾り職人」であるアトムが、金属というマテリアルと職人技を改めてフィーチャーし、「KANAGU」ならではの視点で商品をセレクトしました。「ご自宅のインテリアのアクセントや大切な方へのプレゼントとしてご利用いただけるような、ぬくもりの伝わるアイテムが揃っています。素材・デザイン・仕上げなど、隅々まで職人のこだわりが詰まった作品たちをご覧ください。

画一的な大量生産、大量消費のサイクルから解放され、ときにはじっくり選んで、じっくり買う。本当のお気に入りの「モノ」との出会いは、何気ない日常にもさっと輝きをもたらしてくれるでしょう。これからもみなさまに喜んでいただけるようなアイテムを展示販売していきます。どうぞお楽しみに。

文／新井真紀子

アルミ



アルミのクールな質感と、職人の手作業によるあたたかみあるデザインのコントラストが楽しい「アルアート」。一輪挿しを主体とした花器やアクセサリーが揃っています。



	亜吐夢金物館 総合受付 2F		亜吐夢金物館 3F		亜吐夢金物館 歴史コーナー 4F	
	Interior Market Place 7F		ホワイトルーム 8F		スカイガーデン PH	



CSタワーの
イベント近況報告です

塩浦信太郎氏によるカラクリ人形展



世界各国を訪れ、文化や西洋カラクリなどに触れるうち、独自にカラクリ人形の創作を始めた塩浦さん。静寂のなかで独特な動きを見せる人形たちが織り成す、シュールな世界観が楽しい展覧会でした。



塩浦信太郎氏のプロフィール
1954年群馬県生まれ。
テレビ・出版・広告業界で幅広く活動するかたわら、カラクリ作品の創作に携わる。ネイティブ・アメリカンの文化にも精通。

窪田義和展「みんな原点のなか」



「この宇宙の無限大と無限小とは同じ構造といえるのではないかと考えて、できるだけ、深く狭く思考を続けることで、普遍的な世界にたどりつきたい」と語る窪田画伯。宇宙のようであり細胞のようでもある、溢れ出るようであり吸い込まれるようでもある、まばゆい光のようであり漆黒の闇のようでもある。そんな神秘的な作品でした。

窪田義和氏のプロフィール
1954年東京都生まれ。
東京大学教養学部教養学科卒業。
日本美術家連盟会員、東京展会員。



webの紹介



「KANAGU」で取り扱っている商品それぞれの「モノ語り」は、弊社SNSサイト「インテリアファン」内にあります「TSUNAGU(つなぐ)ウェブギャラリー」からご覧いただけます。是非チェックしてみてください。

<http://interiorfan.com/tsunagu/>

銅

美術工芸品や銅像に用いられる伝統的な着色技法を応用した、唯一無二のデザインが特徴の置き時計は、鮮やかなターコイズブルーが印象的。六本木ヒルズの内装も手がけた伝統工芸士の本物の技が、インテリア雑貨に息づいています。



真鍮



富山県高岡から届いた、真鍮の生活用品ブランド「FUTAGAMI」。使えば使うほど独特の味わいが出て、自分にとってスペシャルな存在感を醸し出します。手に取ったときの金属の重みが心地よいアイテムです。

	サロンスペース 真鍮コレクション		ギャラリーショップ
	Bf	近未来住空間 イメージフロア	1F
5F			オーダー家具 ショールーム
			6F



往時の面影を残す銀座最古の酒場



ボルドー【BORDEAUX】

東京都中央区銀座8-10-7
地下鉄「新橋駅」より徒歩5分
TEL.03-3571-0381
営業時間／18:00～23:00
定休日／土日祝日



銀座のビルとビルの谷間に、その酒場はひっそりと佇んでいた。

蕙の葉が絡みあつて、建物を幻想的につつみこんでいる。ヨーロッパの古城を思わせる洋館造り。壁も表札も出窓も蕙で覆われ、すべてが不思議な一体感を漂わせている。

創業は昭和二年（一九二七年）。銀座最古の老舗酒場「ボルドー」である。

城門に似た重厚な入口の扉を開けると、一瞬、異空間に足を踏み入れたような錯覚におそわれる。靴音が響く石畳の床、アーチ状の家具調度、いまでも現役の威厳を誇る石造りの暖炉、さまざまな色彩と形状に彩られたランプやシャンデリア、歳月をかけて磨きこまれた鉛色の艶を放つ手すりや木柱。

赤絨毯を敷きつめた階段をのぼれば、吹き抜けになった二階席から店内が一望できる。

そこには、中世の貴族の館に迷いこんだかのような世界が広がっているのだ。

かつての「ボルドー」の顧客は、華族や旧財閥、政財界の重鎮、芸術家など。戦前は、米内光政首相や山本五十六元帥らが足しげく通い、お気に入りの席で会話をはずませた。戦後は、吉田茂の側近として活躍した白洲次郎も常連で、暖炉の前のソファアが指定席であったという。

当時は会員制に準じた格調高い「紳士の社交場」としての矜持きようしを保っていたが、時は移り厳格さは和らいで、一見さんの入店も自由になった。

とはいえ、銀座という場所、「ボルドー」という酒場の品格が、おのずから客を選ぶであろうことは間違いない。昭和という時代に想いを馳せながら傾けるグラスの酒。「時刻（とき）よ、止まれ」

そんな言葉をつぶやきたくなる芳醇な一夜が訪れる。

読者の声

みなさまよりお寄せいただいたご意見を
いくつかご紹介いたします。

いつも楽しい記事をありがとうございます。今後も楽しくて役立つ情報を提供してください。 <大阪府 N.N様 男性>

本と映画と芝居と写真とアート好きの書評家兼主婦です。物書仲間から紹介されて拝読しましたが、とても興味深い内容で楽しませていただきました。今後もよろしくお願い致します。洋書、当たるとイイなあ…。 <香川県 月影ユカリ様>

いつも興味深く拝見させて頂いております。秋号は、特に「オール・ニューヴォー」が参考になりました。12月にパリに行くので、ギマールの作品をみつめてこようと思います。

金物のしくみや丁番のできる過程とか。 <東京都 H.S様 男性>

当社ではアウトセット用ブラケットレールとHRを使い、木製カバーを取付け施工しています。アルミカバー一体型も有れば便利です。 <兵庫県 N.S様 男性>

ル・コルビュジェの洋書特集をぜひ。 <福井県 N.K様 男性>

いつもアトムニュース楽しみにしています。毎年の内覧会ぜひにと思っていますが、平日ですね。残念…。毎回の東京スポーツ楽しく読んでいます。内容もエコ、自然がたぐさんと共感します。社員リレーもまた楽しみです。

<愛知県 TORA.TORA.TORA様>
今後の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

編集後記

今年の初めに仲間内で1年の抱負を語り合い、目標を立てたのですが、振り返ってみると未達成のものが…多いデス。あれもこれもと欲張りすぎたのかもかもしれません。あと1ヶ月でどのくらい達成できるか判りませんが、このままいくと「今年目標」が「来年目標」にそのままスライドしそうな予感が…。来年もみなさまにとって良い1年でありますように。 <瑠璃>

相変わらず先の見えない日本経済。諸々の外交問題しかり、今の政府に不満を抱く人も少なくないはず。大河ドラマの影響もあるにせよ、坂本龍馬が人気なのも人々が時代の革命児を欲しているからなのかもしれませんね。「冬来たりなば春遠からじ」、そう信じたいですね。 <はんべいた>



「おとなのオフタイム」シリーズの絵を描いている佐藤英行さんの作品展が浜松町の芝パークホテル内のギャラリーラウンジで行われます。

ギャラリーラウンジ「蒸留所とバーの世界展」

会場：芝パークホテル ギャラリーラウンジ
東京都港区芝公園1-5-10
日時：2011年1月4日(火)～3月17日(木)
17:00～23:00(定休日：祝日)
tel.03-5470-7545
http://www.shibaparkhotel.com

特販事業部 岡本 光司



特需営業を担当し、既存商品にとられない開発・提案などにも携わる。

日本社会人アメリカンフットボール協会所属「クラブハスキーズ」。私が所属しているアメフトのクラブチームです。昔はアメフトにも実業団チームがたくさんありましたが、不況のあおりを受け、現在では大手企業の有するチームがいくつかあるだけで、あとはそれぞれ別の会社で働く社会人が所属するクラブチームという運営形態が多いのが現状です。選手もコーチもみな趣味としての活動となるので、報酬は一切ありません。強いて言えばスポンサーの付いているチームの選手に対して、プロテインやユニフォーム、防具等が無料支給される程度です。

以前は選手としてこのチームに所属していましたが、怪我がきっかけで現在はコーチとして所属しています。土曜・日曜・祝日が練習日なので、仕事の日は外は必ず練習に参加し、さらに試合のシーズンに入ると平日の夜も練習し、週末は合宿になり、完璧にアメフトに浸った生活を送っています。

私はオフエンスコーディネーターという、一般の会社でいうと部長のようなポジションに位置しています。オフエンスコーディネーターはスカウティング(対戦相手の分析)を行ったり、戦術や選手起用などを深夜まで考えたりします。練習では選手のミスに対して怒鳴りちらすこともあります。試合中に選手がミスをして試合に負けるようなことがあれば、一切の責任は自分にあると考えていますし、何より見に来ていただいたファンの方々に申し訳ないので、選手に対しては厳しく接しています。

こんな生活をしていると、さすがにシーズン終盤にはアメフトに嫌気がさすのですが、冬季OFF期間(練習が切れない)を過ぎると必ずシーズンインが待ち遠しくなってしまう。

日本ではマイナーなアメフトですが、アメリカでは人気だグランドツノーのスポーツです。アメフトは「モメンタムスポーツ」とも呼ばれ、勢いで試合の流



試合中戦術確認をする本人

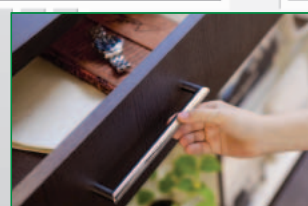
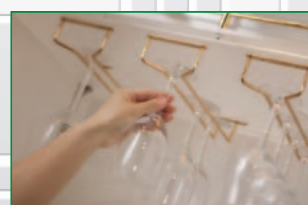
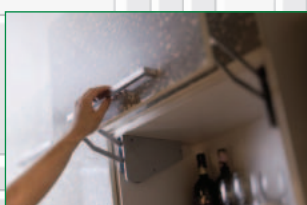
れが180度変わり、ひとつのミスから敗戦に追い込まれることがあるなど試合前の下馬評通りの結果にならないことが度々あります。そして、格闘技的要素の非常に強いコンタクトスポーツでもあり、試合会場でのタックルした際の衝撃音は迫力満点です。アメフトに興味がある方は是非お声掛け下さい。ルール等を覚えてしまえば、きっと面白さがわかってもらえると思いますよ。

個人情報の取り扱いについて

アンケートや洋書プレゼントにご応募いただいたみなさまの個人情報は、洋書プレゼントおよび「ATOM NEWS」の発送にのみ使用いたします。ご本人の承諾のない限り、第三者に提供することはありません。また、ご応募の集計結果は個人を識別できない形で管理の上、「ATOM NEWS」の企画・編集・制作の参考にさせていただきます。

住まいの名脇役でありたい。

目立たないけど、いい味だしてる。
住まいのさまざまなシーンで活躍する、
アトムの金物です。



役立つ情報
満載!

ATOM
DATA
LINE
10・12

住まいの語り手 ATOM アトムリビンテック株式会社

■本社 / 〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL.03-3876-0600 (代表)

特販事業部 TEL.03-3876-0603 FAX.03-3876-8833

卸売事業部 TEL.03-3876-0602 FAX.03-3876-4435

■アトムCSタワー / 〒105-0004 東京都港区新橋4-31-5

オンデマンド事業部 TEL.03-3437-3673 FAX.03-3437-4699

亜吐夢金物館 TEL.03-3437-3440 FAX.03-3437-3565

■アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所 / 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18-5
TEL.06-6821-7281 FAX.06-6821-7282

■札幌営業所 / 〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東三丁目28-32 井門札幌東ビル1F
TEL.011-748-3113 FAX.011-753-3015

■前橋営業所 / 〒371-0805 群馬県前橋市南町3-72-7
TEL.027-223-2651 FAX.027-223-2661

■広島営業所 / 〒733-0031 広島県広島市西区観音町16-9 みさおビル1F
TEL.082-291-4235 FAX.082-291-4880

アトムリビンテックのホームページもご覧ください。 <http://www.atomlt.com/>